

統計トピックスNo. 76

^{うま}
「午年生まれ」と「新成人」の人口

— 平成26年 新年にちなんで —

(「人口推計」から)

^{うま}
午年生まれは 958 万人

新成人は 121 万人

総務省統計局では、新年を迎えるに当たり、平成26年1月1日現在における^{うま}「午年生まれ」の人口と「新成人」の人口を推計しました。

要 約

I ^{うま} 午年生まれの人口は958万人

- 男性は465万人，女性は493万人
- 昭和53年生まれが最も多い
- 十二支の中では12番目で最も少ない

II 新成人人口は121万人

- 新成人人口は121万人，前年比 1 万人減
男性は62万人，女性は59万人
- 人口，割合共に過去最低を更新

I ^{うま} 午年生まれの人口は958万人

男性は465万人，女性は493万人

平成26年1月1日現在における^{うま}午年生まれの人口は958万人で、総人口1億2722万人に占める割合は7.5%となっています。

男女別にみると、男性は465万人、女性は493万人で、女性が男性より28万人多くなっています。 (表1，表2)

昭和53年生まれが最も多い

^{うま}午年生まれの人口を出生年別にみると、昭和53年生まれ（平成26年に36歳になる人）が167万人と最も多く、次いで昭和17年生まれ（同72歳になる人）が162万人、昭和29年生まれ（同60歳になる人）が160万人、昭和41年生まれ（同48歳になる人）が133万人、平成2年生まれ（同24歳になる人）が123万人、平成14年生まれ（同12歳になる人）が114万人などとなっています。

昭和41年生まれが少ないのは、^{ひのえうま}「丙午」に当たり出生児数が少なかったためと考えられますが、平成2年及び平成14年生まれは、近年の少子化に伴い、昭和41年生まれよりも少ない結果となりました。 (表2，図2)

十二支の中では12番目で最も少ない

総人口を十二支別にみると、^{うし}丑年生まれが1133万人で最も多く、^ね子年（1115万人）、^み巳年（1114万人）と続いており、^{うま}午年生まれは12番目となっています。^{うま}午年生まれの人口が他と比べて少ないのは、^{ひのえうま}前述の^{うま}丙午の影響によるものと考えられます。

(表1，図1)

表1 十二支別人口

十二支	人口 (万人)	総人口に 占める割合 (%)	人口 順位
総数	12722	100.0	—
子(ね)	1115	8.8	2
丑(うし)	1133	8.9	1
寅(とら)	1099	8.6	6
卯(う)	1083	8.5	7
辰(たつ)	1105	8.7	4
巳(み)	1114	8.8	3
午(うま)	958	7.5	12
未(ひつじ)	1017	8.0	8
申(さる)	1011	7.9	10
酉(とり)	971	7.6	11
戌(いぬ)	1012	8.0	9
亥(い)	1102	8.7	5

図1 十二支別人口

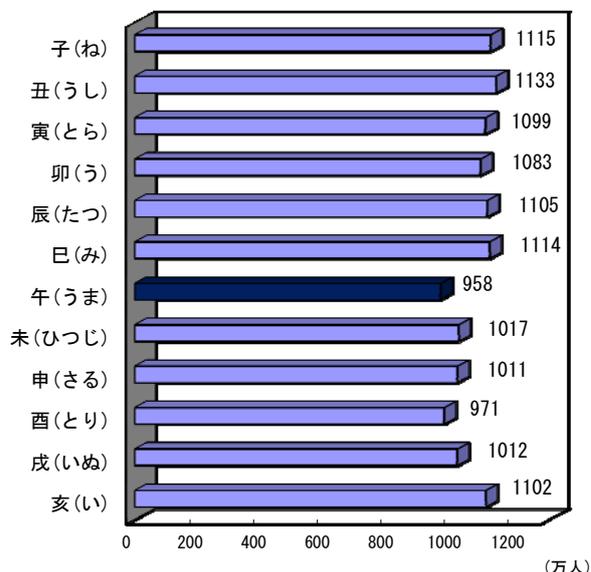


図2 男女、出生年別^{うま}午年生まれの人口

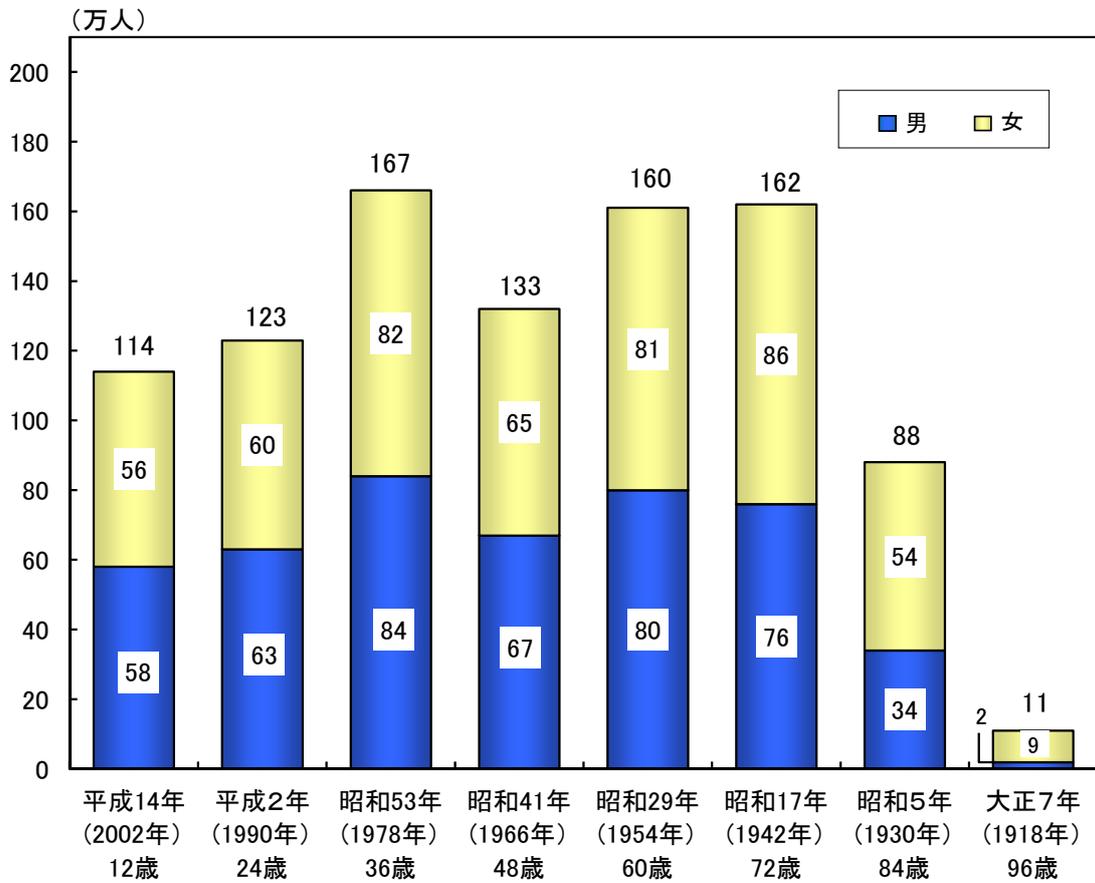


表2 男女、出生年別^{うま}午年生まれの人口

生まれた年・年齢		男女計	総数に占める割合	男	総数に占める割合	女	総数に占める割合
		(万人)	(%)	(万人)	(%)	(万人)	(%)
総数	—	958	100.0	465	100.0	493	100.0
平成14年 (2002年)	12歳	114	11.9	58	12.6	56	11.3
平成2年 (1990年)	24歳	123	12.8	63	13.5	60	12.2
昭和53年 (1978年)	36歳	167	17.4	84	18.2	82	16.7
昭和41年 (1966年)	48歳	133	13.9	67	14.5	65	13.3
昭和29年 (1954年)	60歳	160	16.8	80	17.1	81	16.4
昭和17年 (1942年)	72歳	162	16.9	76	16.4	86	17.5
昭和5年 (1930年)	84歳	88	9.2	34	7.3	54	10.9
大正7年 (1918年)	96歳	11	1.1	2	0.5	9	1.8

- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- * 図及び表中の年齢は、平成26年に誕生日を迎えた時の年齢
- * 十二支別人口は、1月1日現在の推計のため、平成26年生まれの^{うま}午年の人は含まれない。

II 新成人人口は121万人

新成人人口は121万人で前年比1万人減
男性は62万人、女性は59万人

この1年間（平成25年1月～12月）に、新たに成人に達した人口（平成26年1月1日現在20歳の人口）は121万人で、前年と比べると1万人の減少となっています。

男女別にみると、男性は62万人、女性は59万人で、男性が女性より3万人多く、女性100人に対する男性の数（人口性比）は105.1となっています。（表3、図3）

人口、割合共に過去最低を更新

新成人人口について、この推計を開始した昭和43年からの推移をみると、第1次ベビーブーム世代の昭和24年生まれの人が成人に達した45年が246万人で最も多くなった後、減少に転じ、53年には152万人となりました。その後、昭和50年代後半から再び増加傾向を続け、第2次ベビーブーム世代の人が成人に達した時に200万人台（最多は平成6年207万人）となった後、平成7年に再び減少に転じて以降は減少傾向を続けています。

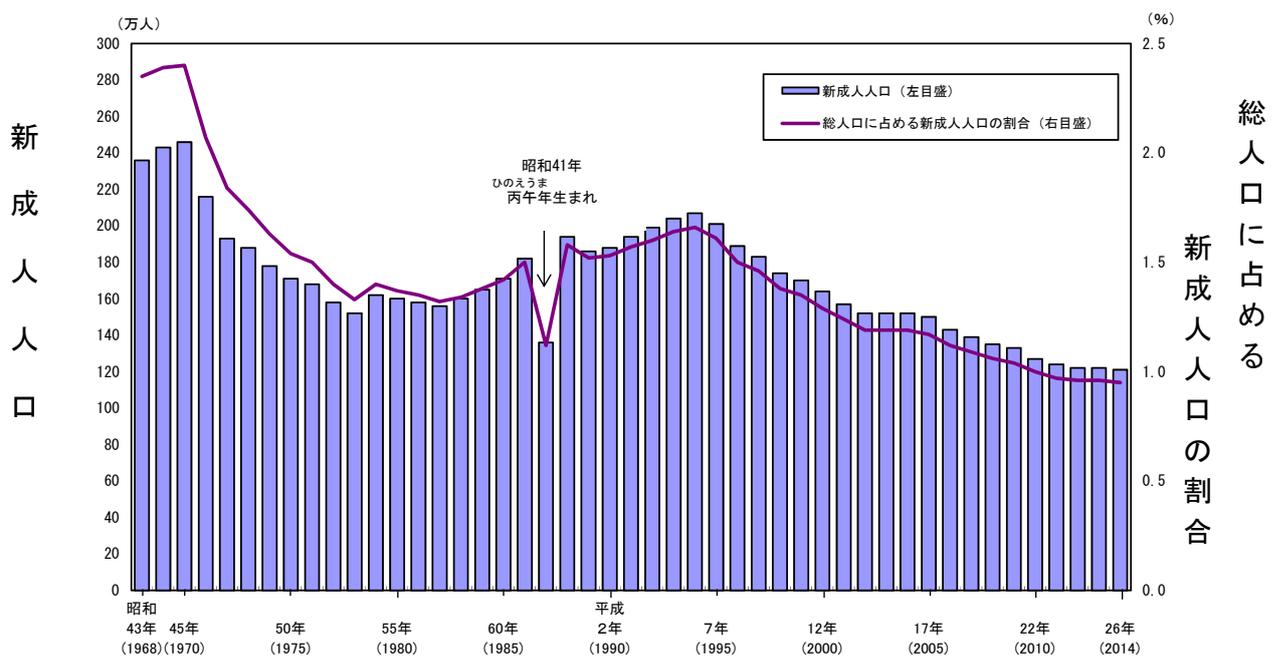
表3 新成人人口の推移（各年1月1日現在）

年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%） 男女計	人口性比	年次（西暦）	新成人人口 （万人）			総人口に 占める 割合（%） 男女計	人口性比
	男女計	男	女				男女計	男	女		
昭和43年（1968）	236	119	117	2.35	101.6	平成3年（1991）	194	99	94	1.57	105.4
44（1969）	243	123	121	2.39	101.9	4（1992）	199	101	97	1.60	104.2
45（1970）	246	124	123	2.40	101.0	5（1993）	204	104	99	1.64	105.0
46（1971）	216	110	106	2.07	103.9	6（1994）	207	106	101	1.66	105.0
47（1972）	193	98	96	1.84	102.0	7（1995）	201	103	98	1.61	105.6
48（1973）	188	94	94	1.74	100.8	8（1996）	189	97	92	1.50	105.3
49（1974）	178	89	89	1.63	100.6	9（1997）	183	94	89	1.46	104.7
50（1975）	171	87	84	1.54	103.6	10（1998）	174	89	85	1.38	105.0
51（1976）	168	86	83	1.50	103.7	11（1999）	170	87	83	1.35	105.2
52（1977）	158	81	77	1.40	104.5	12（2000）	164	84	80	1.29	105.4
53（1978）	152	77	75	1.33	102.8	13（2001）	157	81	77	1.24	105.3
54（1979）	162	82	80	1.40	103.3	14（2002）	152	78	74	1.19	104.7
55（1980）	160	81	78	1.37	103.9	15（2003）	152	77	74	1.19	104.7
56（1981）	158	81	78	1.35	104.3	16（2004）	152	78	74	1.19	104.7
57（1982）	156	80	76	1.32	104.5	17（2005）	150	77	73	1.17	104.9
58（1983）	160	81	78	1.34	104.2	18（2006）	143	73	70	1.12	105.0
59（1984）	165	84	81	1.38	104.3	19（2007）	139	72	67	1.09	106.4
60（1985）	171	87	83	1.42	104.8	20（2008）	135	69	66	1.06	105.2
61（1986）	182	93	89	1.50	104.2	21（2009）	133	68	65	1.04	104.9
62（1987）	136	70	66	1.12	105.7	22（2010）	127	65	62	1.00	104.7
63（1988）	194	99	95	1.58	103.9	23（2011）	124	63	61	0.97	104.2
64・ 平成元年 （1989）	186	96	91	1.52	105.3	24（2012）	122	62	60	0.96	104.9
2（1990）	188	97	92	1.53	105.5	25（2013）	122	63	59	0.96	105.4
						26（2014）	121	62	59	0.95	105.1

平成26年の新成人人口は121万人、総人口に占める割合は0.95%となり、前年と比べると、1万人、0.01ポイント減となり、人口、割合共に過去最低を更新しました。

(表3, 図3)

図3 新成人人口及び総人口に占める割合の推移（各年1月1日現在）



- * 数値は万人単位に四捨五入してあるので、内訳の合計は必ずしも総数に一致しない。
- * 割合は表章単位未満を含んだ数値から算出している。

※ 人口推計は、国勢調査による人口を基に、その後の人口動向を他の人口関連資料から得て算出している。

- ◆ 「人口推計」の詳しい結果を御覧になる場合は、次の URL を参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>

人口推計

検索

- ◆ このトピックスは、次の URL から御覧になれます。

<http://www.stat.go.jp/data/topics/index.htm>

- ◆ このトピックスに掲載されている解説文、図等の情報を引用・転載する場合には、出典の表記をお願いします。

(例) 「統計トピックス No.76」(総務省統計局)

【問合せ先】
総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 人口推計係
〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号
TEL : 03(5273)1009
FAX : 03(5273)1552
Eメール : c-suikei@soumu.go.jp



総務省統計局
Statistics Bureau,
Ministry of Internal Affairs
and Communications